

URによる災害対応支援の歩み

～阪神・淡路大震災から30年。培ったノウハウを様々なフィールドへ～

URは、様々な事業を通じて蓄積したノウハウを結集し、地震や豪雨等による災害の復旧・復興に尽力してきました。災害対応業務の契機となった平成7（1995）年1月の阪神・淡路大震災では、震災発生直後から復旧活動に総力を挙げ、取り組み、その後の復興事業では、住宅建設や基盤整備を通して現地の復興に寄与しました。以来、30年にわたって、日本各地で発生した災害からの復旧・復興に組み込み、その過程で新たに培ったノウハウをまちづくり（密集市街地の整備改善や道路・防災公園の整備等）や防災意識向上（地方公共団体向け研修、UR賃貸住宅や事業地区等における防災イベントを通じた情報発信等）の施策に活用して、事前防災・減災に役立てています。



工場跡地を整備
神戸市の復興の象徴に
HAT神戸（兵庫県神戸市）

平成7（1995）年
阪神・淡路大震災

震災発生直後から復旧活動にあたり、延べ7,300人の地方公共団体への人的支援（建物応急危険度判定調査等）や、約1万戸の応急仮設住宅建設（兵庫県、大阪府下総仮設戸数の21%）等を実施しました。

また、復興事業では、被災者のために2万戸超の復興住宅（公営住宅建設受託を含む）を建設。加えて、市街地再開発事業と土地区画整理事業により、計32地区、約1,335haを整備し、復興まちづくりを推進しました。



津波被災地を整備
南三陸町 志津川地区（宮城県南三陸町）

平成23（2011）年
東日本大震災
⇒詳細P34



災害公営住宅を整備
響原復興住宅（熊本県宇城市）

平成28（2016）年
平成28年熊本地震

震災発生直後から被災宅地危険度判定、液状化及び滑動崩落に関する技術支援等に関わる職員を現地に派遣し、復旧活動にあたりました。また、被災者へUR賃貸住宅を提供しました。

平成29（2017）年からは熊本県内1市3町（宇城市、御船町、嘉島町、益城町）で災害公営住宅整備事業を開始し、計453戸を整備しました。



液状化等の影響を受けた宅地の危険度判定をマネジメント
（石川県宝達志水町）

令和6（2024）年
令和6年能登半島地震
⇒詳細P37

様々なフィールドで推進する防災の取り組み

- 密集市街地の整備改善
⇒詳細P22
- 道路・防災公園の整備
- 防災集団移転促進事業の計画支援
- 地方公共団体等の災害対応力向上の支援
⇒詳細P38
- 団地での防災意識の向上



防災公園を整備。まちの賑わい拠点に
としみどりの防災公園（東京都豊島区）



UR賃貸住宅における防災啓発イベント
DANCHI Caravan in 町田山崎（東京都町田市）



URふるさと応援プロジェクト

～URグループで、地域経済の活性化と、団地やまちの魅力向上を目指しています～

「URふるさと応援プロジェクト」とは、URがまちづくりを支援する地方都市の皆様と、URが管理する団地やまちづくりに参画する地区等に暮らす皆様に「つなぐ」プロジェクトです。地域経済の活性化とURが関わる団地やまちの魅力向上を目指し、令和2年度からURグループで活動しています。

令和6年度は、全国の団地や、URグループ各社が運営する商業施設等で開催されるイベントでマルシェを開催し、東日本大震災の被災地域を含む地方公共団体と連携した地域の特産品の販売や、観光PR活動を行いました。今後も地域の魅力を発信していくことで、地域経済の活性化や交流人口の増加につながるよう応援していきます。

■ 情報交流施設「まちのたね」

全国のまちの魅力を発信する場として、名古屋の中心部・栄の地下街に開設している「ひと」と「まち」のマッチングスペースです。

地方公共団体等によるシティプロモーションとして、観光PR、地域の特産品販売、ワークショップ等の各種イベントを実施したほか、URが取り組んできた災害復旧・復興支援の実績等を紹介する展示会を開催しました。



宮城県女川町による観光PR活動の様子（ヌーヴェル赤羽台）



令和7年3月の「UR復興・防災フェア」の様子

